

「不妊治療に関する調査—卵子提供の経験についてのWebアンケート」集計結果

研究プロジェクト「生殖医療技術の利用における選択—新しい技術の受容・拒否・躊躇」（ KAKENHI：20H01408 ）

研究者：柘植あづみ（代表者）、小門穂、洪賢秀

調査期間：2021年10月9日～2022年1月5日

調査概要

調査目的：卵子提供に対する経験、意識、意見等をWebアンケートにて回答してもらい、その結果から、第三者の関わる生殖補助医療の現状を把握し、知らせるとともに、今後のあり方について考察、指摘する。

調査期間：2021年10月9日～2022年1月5日

実施者：柘植あづみ（研究代表者・明治学院大学）、洪賢秀（研究分担者・明治学院大学）、小門穂（研究分担者・神戸薬科大学（当時））

倫理審査：明治学院大学社会学部社会学科調査・研究倫理委員会（21SG-001）と神戸薬科大学研究倫理委員会（KPU-IRB-2021-04）の承認を得て実施した。

調査項目：質問は49項目あり、選択式と自由記述式で回答を求めた。質問内容は、回答者の年齢や婚姻状況、妊娠出産に関する状況、子の有無、就業状況等の基本的属性に加え、不妊治療の経験と意見、卵子提供についての経験と意見を多岐にわたって尋ねた。

回答者について

[Q1] あなたの生年を教えてください。（平均値と中央値）

	度数	%
TOTAL	33	100.0
平均値	1975.9	-
中央値	1976	-

回答者について

[Q2] 不妊治療あるいは生殖補助医療の経験はありますか。現在、具体的に受ける準備を進めている方は「ある」をお選びください。

	度数	%
TOTAL	33	100.0
ない	1	3.0
ある	32	97.0

回答者について

[Q3] 卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験はありますか。

	度数	%
TOTAL (Q2で「ある」と回答した件数)	32	100.0
ない	6	18.8
ある	19	59.4
現在、受ける準備をしている	7	21.9

回答者について

[Q4_1] (Q3で「ない」と回答した方に)

卵子提供による体外受精または顕微授精を受けようか考えたことはありますか。

	度数	%
TOTAL	6	100.0
ない	0	0.0
ある	6	100.0

[Q4_2] (Q4_1で「ない」と答えた方に) 受けようとは思わない理由や意見など、具体的に教えてください。→該当なし

回答者について

[Q4_3] (卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験はないが、受けようか考えたことはある、と答えた方に) 受けようか考えた理由や意見など、具体的に教えてください。【自由記述】

◆ 自己卵が育たないため (42才)

◆ 自己卵子では、限界を感じて (46才)

◆ 採卵を16回繰り返しても妊娠できない。AMHが低く、採卵しても卵が取れない、取れても胚盤胞まで育たず、ようやく胚盤胞になって移植しても着床すらしない。これを繰り返しているうちにこれ以上やっても希望がないと感じ、次のステップに移りたいと思いました (38才)

◆ 自己卵の治療に限界を感じたから (44才)

◆ アメリカに住んでいた時に体外受精を何度かして、ダメだった。理由が卵子が取れないことだったのでドクターから卵子提供しか子供を授かる方法がないと言われたから (40才)

◆ 子どもが欲しいが、不妊治療でもうまく行かず、妻の年齢的には他に選択肢が考えられない (39才)

回答者について まとめ

- 回答者の回答時の年齢の平均値 46歳
- 回答者数 33名
- 生殖補助医療の経験がなかった人 1名
- 卵子提供による体外受精・顕微授精の経験がないか、それを受ける準備をしていなかった人 6名

この結果は、アンケート冒頭に「『卵子提供の経験についてのWebアンケート調査』へのご協力のおかげ」と記し、さらに「この調査は、卵子提供による生殖補助医療を受けた方、現在、具体的に受ける準備を進めている方のご経験や意見をうかがい、そこから、卵子提供をめぐる制度等を検討することを目的に行うものです」という説明文を示したため、期待通りの回答者に協力いただいたと考える。

これ以降の設問への回答は、33名から7名を引いた26名になる。

回答者の婚姻関係について

※ ここからは、卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験があるか、または、受ける準備を具体的に進めている方のみの回答になります。（回答者総数N=26）

[Q5] あなたのいまの結婚の状況を教えてください。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
結婚(法律婚)している	25	96.2
事実婚または同棲の男性パートナーがいる	0	0.0
結婚(法律婚)していない(離別、死別を含む)	0	0.0
その他	1	3.8

26名中25名が法律婚でした。「その他」を選択した1名は自由記述に「独身で別居のパートナーがいる」と記していました。

回答者の居住地について

[Q6] お住まいの地域は次のどれですか。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
人口50万人以上の市(指定都市)か東京23区	17	65.4
人口20万人以上50万人未満の市(中核市)	6	23.1
その他の市	3	11.5
町村	0	0.0

26名中、6割を超える方が人口50万人以上の市（指定都市）か東京23区に、88.5%の方が中核市を含めた都市部にお住まいでした。

回答者の同居者／家族について

[Q7] 現在、一緒に暮らしている人すべてにチェックをしてください。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
夫(法律婚)	25	96.2
男性パートナー(事実婚、同棲などを含む)	0	0.0
男性以外のパートナー	0	0.0
子ども(実子、養子、継子などすべて含みます)	21	80.8
あなたの親や夫・パートナーの親	3	11.5
その他	0	0.0
答えたくない	0	0.0

現在、一緒に暮らしている人は、夫がもっとも多く96.2%、次いで子ども80.8%でした。自分や夫の親と同居している人は11.5%でした。

子どもの有無

[Q8_1] お子さん(実子[嫡出子]、養子、継子等などすべて含みます)がいらっしゃいますか。お子さんについてうかがいます

	度数	%
TOTAL	26	100.0
いる(同居、別居を問いません)	20	76.9
いない	6	23.1
いないが妊娠中	0	0.0

[Q8_2] 何人いらっしゃいますか。Q8_1で いる と答えた方へ

	度数	%
TOTAL	20	100.0
1人	16	80.0
2人	3	15.0
3人	1	5.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人以上	0	0.0

子どもがいると答えた人は20人 (76.9%) で、子どもの数は1人が80%を占めました。

お子さんの年齢

[Q8_3] 一番年が上のお子さんと一番年が若いお子さんの年齢を以下の選択肢から選んでください。お子さんがお一人なら「一番年が上のお子さん」にのみお答えください。Q8_1で いる と答えた方へ

	n(TOTAL)	5歳未満	6歳以上10歳未満	10代	20代	30代以上
一番年が上のお子さん	20	16	3	1	0	0
	100.0	80.0	15.0	5.0	0.0	0.0
一番年の若いお子さん	4	2	1	1	0	0
	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0

子どもの年齢は、一番年が上の子が10代が1人、5才未満が一番多い16人、二人以上いる場合には一番年が若い子が10代から5才未満に分散していました。

お子さんについて

[Q8_4] お子さんについて該当する項目に全てチェックしてください。
Q8_1で いる と答えた方へ

	度数	%
TOTAL	20	100.0
特別養子	0	0.0
普通養子	0	0.0
里子	0	0.0
継子(夫の子。普通養子縁組をしている場合もしていない場合も含む)	0	0.0
実子(自己卵子で出産した子)	4	20.0
実子(提供卵子で出産した子)	16	80.0
亡くなった子	0	0.0
その他	0	0.0

子どもとの親子関係について詳しく尋ねたところ、実子がいると答えた人が20名で、内訳は提供卵子で出産した子がいるとした人が16名、自己卵子で出産した子がいるとした人が4名だった。

子どもの人数と、どの方法で妊娠したか

	提供卵子による体外受精等を実施した	提供卵子による体外受精等を準備中	計
自己卵子で生まれた子がいる	1 *	3	4
提供卵子で生まれた子がいる	17	0	17
子どもはいない	1 *	4	5
計	19	7	26

自己卵子で生まれた子がいる人のうち、提供卵子による体外受精等を実施した人が1人、準備中の人があるが、自己卵子で生まれた子と提供卵子で生まれた子のどちらもいる人は回答時点ではいなかった。*提供卵子による体外受精を継続中

特定不妊治療支援事業や保険適用についての意見

Q9 不妊治療に対する特定不妊治療支援事業や保険適用について、ご意見があればご自由にお書きください。

助成金の仕組み

- 年収や年齢で適用外になる／年齢制限、回数制限、年収制限をなくしてほしい。
- 早発閉経のため、通常の不妊治療と同じ基準では負担が増えるばかりで辛い。
- 本当に子どもを持ちたい、責任を持って育てたいと思っている高齢夫婦もいます。
- 補助金が出ても他の医療に比べたら高すぎて全然補助になっていないと思います。
- 保険適用でもそれなりの金額になるので、所得制限なしで助成金の方がいい

保険適用について

- 保険制度の導入をもっと早くして欲しかった。
- 自己卵での体外受精や顕微受精までは保険適応してほしい
- 妊婦出産にかかわる医療は全て保険適用でよいと思う
- 病院によって、自費になる範囲が異なるので、統一してほしい。
- 保険適用に年齢制限はなくしてほしい
- 保険適用にするなら、年齢や回数、標準治療にあたるものにかぎるなどの制限や基準が必要とおもう。効果が明確でないものが治療と称して高額で行われすぎている。
- 年齢制限は男女とも必要だと思います。男性(精子)も高齢になると(生まれる子に)発達障害が増えるのは、伝えられていない情報かもしれませんが、現実には明らかです
- 保険適用になっても、不妊治療が大変な治療である事は変わりないです。
- 子供が欲しい人に適切な医療を受けるリプロダクティブライツが欲しかったです。

特定不妊治療支援事業や保険適用についての意見

Q9 不妊治療に対する特定不妊治療支援事業や保険適用について、ご意見があればご自由にお書きください。

仕事との両立

- 不妊治療をするための特別休暇。
- 不妊治療には、仕事を休んでいかなければいけないので、そちらの制度的な整備（不妊治療による休暇を認めるなど）を進めてほしい。今の状況ですと不妊治療を継続するか、不妊治療を諦めて仕事を続けるかのどちらかになっています。

メンタルケア

- 不妊治療中の心理士などによるメンタルケアも必要だと思う。
- 自分はお金よりも心のケアと時間的切迫感のほうが辛かった。

その他

- 独身者が不妊治療を受けられるクリニックが少ないのが非常に不満。卵子提供に切り替えた時には国外しか選択肢がなかった。治療費支援や保険適用はあるに越したことはないが、何より誰でも敷居が低く日本国内で卵子／精子提供を受けることができるようになってほしい。また独身か法律婚をしているかの差別もするべきではない。ドナーも自分で選んだ人、またはドナーバンクで匿名以外で選べる選択肢が必要。
- 不妊治療を始めたのが遅かったので不妊はすべて卵子のせいとされたが、実際は着床不全があった。医師は患者の思いになかなか耳を傾けず難しい部分であると思います。

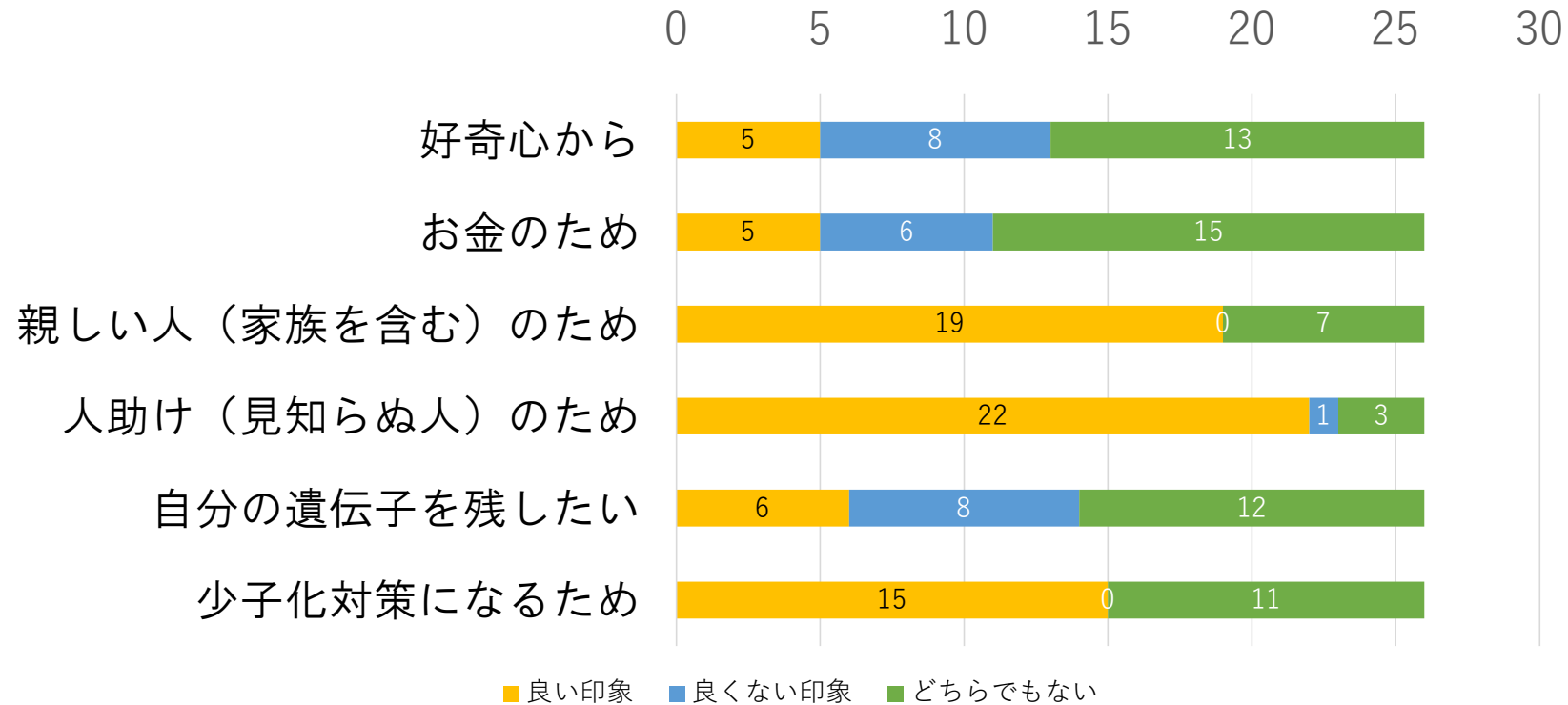
回答者の考え

[Q10] 以下の考え方のうち、一般論ではなく、あなた個人のお考えはどちらにより近いですか。それぞれについて、いずれか一つを選んでください。

	n(TOTAL)	とても 思う	どちらか というそ う思う	という と思わ ない	まったく と思わ ない
精子・卵子・胚の提供で生まれてきた子どもに、提供を受けて生まれてきたという事実を知らせるべきだ	26 100.0	12 46.2	7 26.9	5 19.2	2 7.7
精子・卵子・胚の提供で生まれてきた子どもが希望したら、提供者の詳細な情報（個人特定情報含む）を知らせるべき	26 100.0	11 42.3	10 38.5	2 7.7	3 11.5
精子・卵子・胚の提供で生まれてきた子どもの出自を知る権利を認めると提供者が減るので、認めない方が良い	26 100.0	3 11.5	5 19.2	10 38.5	8 30.8
女性は子どもを産んでこそ一人前だ	26 100.0	1 3.8	6 23.1	3 11.5	16 61.5
女性であれば妊娠・出産を経験する方が幸福だ	26 100.0	7 26.9	8 30.8	2 7.7	9 34.6
子どもがいなくても幸福な人生をおくれる	26 100.0	10 38.5	8 30.8	5 19.2	3 11.5
親子関係は血のつながりが大切だ	26 100.0	0 0.0	6 23.1	5 19.2	15 57.7
自分で出産した子どもではなくても愛することはできる	26 100.0	17 65.4	6 23.1	2 7.7	1 3.8
自分では妊娠・出産できない場合に代理出産で子どもをもつ方法も認められるべきだ	26 100.0	16 61.5	7 26.9	3 11.5	0 0.0
生殖補助医療の進歩は、女性に幸福をもたらしている	26 100.0	14 53.8	9 34.6	1 3.8	2 7.7
生殖補助医療の進歩は、女性に苦痛や悩みをもたらしている	26 100.0	3 11.5	9 34.6	5 19.2	9 34.6

回答者の考え

[Q11] 卵子を提供する動機にはいろいろあります。あなたが卵子提供者を決める際に提供者の提供動機を知ることができるとして、次の動機はあなたにとって良い印象になるか、良くない印象になるか、該当するものをチェックしてください。(N=26 各問に単一回答)



回答者の考え

[Q12] 生殖補助医療の法律内容が検討されており、卵子提供を受けられる人の条件が盛り込まれる予定です。あなたは、精子提供、卵子提供を受けられる人に制限が必要だと考えますか。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
制限する必要はない(誰が受けても良い)	15	57.7
制限する必要はある	9	34.6
わからない	2	7.7

回答者の考え

[Q13] Q12で制限必要ないを選んだ人の理由の自由記述(1)

国や他者による制限に反対	<p>誰かに医療を受ける権利があるかどうかを、本人以外の他者が判断するのはおかしいと思う。</p> <p>制限と多様性が相反するので</p> <p>子を産みたいと願う女性に、勝手に国が制限決めるべきでない。</p> <p>大人が自分で決断したことであれば国や他人が口を出すことではない。それよりもっと子どものためと教育に税金を投資すべき。</p>
選択肢・自由・平等	<p>子供を持ちたくても持てない人に少しでも選択肢が多い方がいいと思う</p> <p>人それぞれの事情があるから</p> <p>平等でなければならないと思うから</p> <p>子を持たない家庭、男女ではない婚姻関係等々、人はそれぞれであると、自由な生き方を尊重する日本でなければ、まだまだ女性が自分の卵子で子供を作れない。または子供を諦める状況ではないのではないか。</p>
制限すべき条件がない	<p>制限する客観的（科学的）な理由・根拠があれば理解できると思うのですが、ないのではないかと考えているため。 また育児をすることがとても幸せだと感じているため、卵子提供以外の方法で妊娠できる可能性があるのであれば、妊娠を諦めずに済む方が増えるのではないかと思います。</p> <p>特に制限を設ける必要がある理由が思い浮かばない。</p>

回答者の考え

[Q13] Q12で制限必要ないを選んだ人の理由の自由記述(2)

身体的条件（年齢を含む）	<p>日本では、いつまでも自己卵子で治療をしているため、卵子提供を考える頃には、高齢になってしまっているから。</p> <p>自分が今、年齢などによって十分に制限を受けていて不条理だと思っているので。</p> <p>子宮や身体が妊娠出産に耐えれると医師が判断したら、させるべき。健康であれば、高齢でも妊娠出産可能。子を持たなければ女性ではないと、日本がそうさせている。日本はまだ子を持たない女性には風当りは強い。その代わりにリスク（多胎、妊娠高血圧、妊娠や出産に伴う合併症、高齢出産後の育児の大変さ）などの情報をもっと早い段階から教育が必須。</p> <p>制限する必要はないを選んだが、下限の年齢制限だけはあった方がいい。20歳または25歳なのか難しいが、人生経験を少しは積んでいる方が判断能力があると思う。</p>
社会経済的条件	<p>十分な環境（金銭面や衣食住、親以外にサポートしてくれる人）が整っていれば良いと思う</p> <p>具体的な法律内容がわからないのですが、金銭的に問題なければ制限する必要はないと思います。</p>
その他	<p>私のように誤診で妊娠時期を逸するケースに救済方法が残っていてほしい</p>

回答者の考え

[Q13] Q12で制限必要あるを選んだ人の理由の自由記述(1)

国などによる制限について	卵子を必要とする人の理由、状況は様々だが、一定の条件は政策上どうしても必要。
	営利目的での売買にならないようにするため、管理は必要。
	ある程度の条件がないと、提供する人も提供してもらう側もモラルがなくなると思うから。
	卵子提供を決めた親、卵子提供で産まれて来た子供、どちらも守るためには規制やルールは絶対的に必要であると思います。規制やルールをしっかりと決めた上で個人が自由に選択出来る仕組み作りをお願いしたいと強く望みます。
選択肢・自由・平等	提供する側とされる側の両方にメリットと合意があれば良いと思う。
	例えばフランスのように43歳までなら誰でも[※男性パートナーのいる女性で不妊と診断されているという条件があれば]卵子提供が受けれるようにして欲しいです。卵子が老化した人は受けられないというのは差別以外のなにものでもないと感じます。しかし、だからといって何でもかんでも認めるのも違うと思います。

回答者の考え

[Q13] Q12で制限必要あるを選んだ人の理由の自由記述(2)

身体的条件（年齢を含む）	生まれてくる子供と出産リスクの問題から、卵子提供を受ける人はある程度の年齢制限は必要だと思います。
	出産年齢は上限があった方が良い。周産期医療の圧迫、生まれた子供を親として育てられる期間を考慮する必要がある。
社会経済的条件	経済面など育てる環境は考慮が必要だと思う
情報管理／子ども知る権利	遺伝子的な近親婚を避ける、生まれた子の権利の為。
	（卵子提供だけではなく、）精子提供も、情報の管理や健康検査など必要だと思います。
	生まれてくる子に、提供に至った経緯について、納得出来る説明が出来るかどうか。

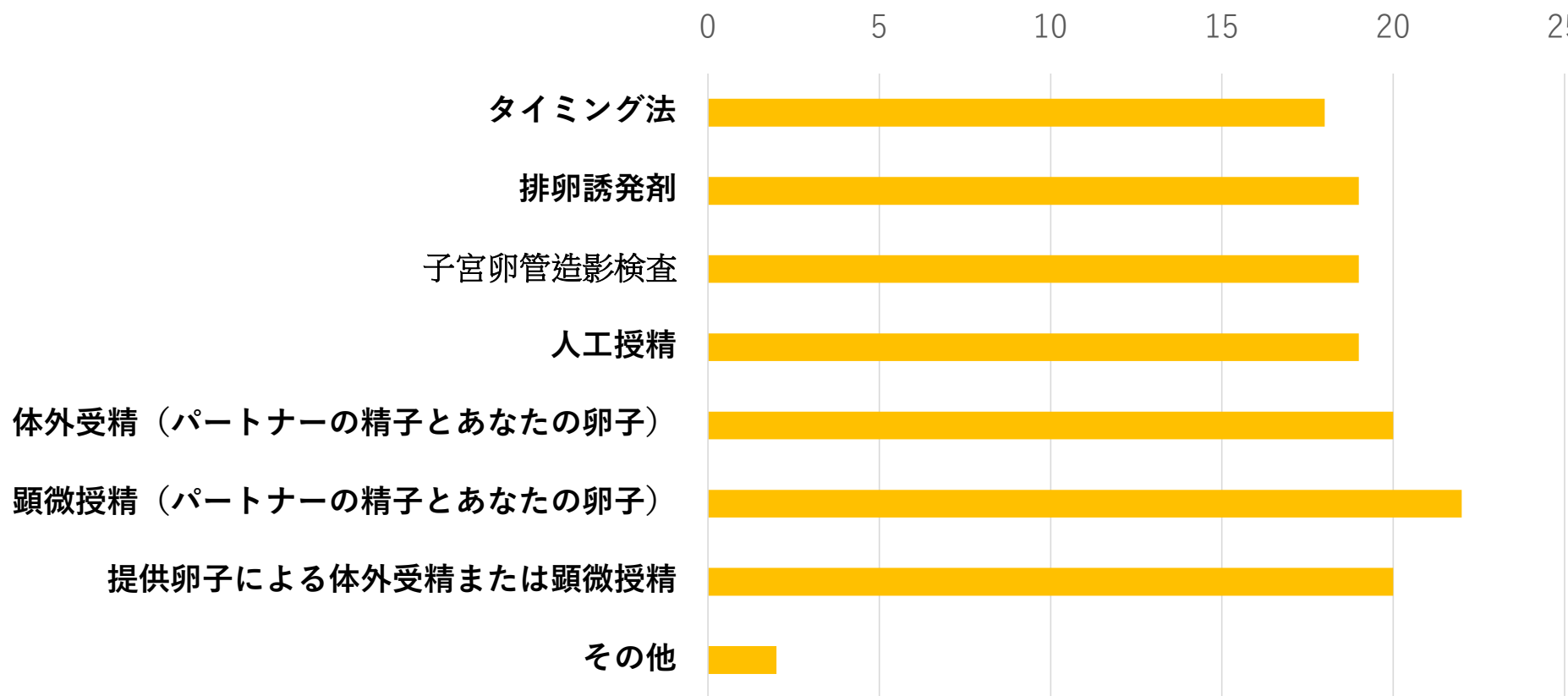
不妊治療の経験

[Q14] (Q3で「ある」「現在、受ける準備をしている」と回答した方に)
現在、不妊治療中ですか。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
いいえ	14	53.8
はい(自己卵子で妊娠する方法)	3	11.5
はい(提供卵子で妊娠する方法)	6	23.1
はい(自己卵子で妊娠する方法と提供卵子で妊娠する方法の両方)	0	0.0
その他	3	11.5

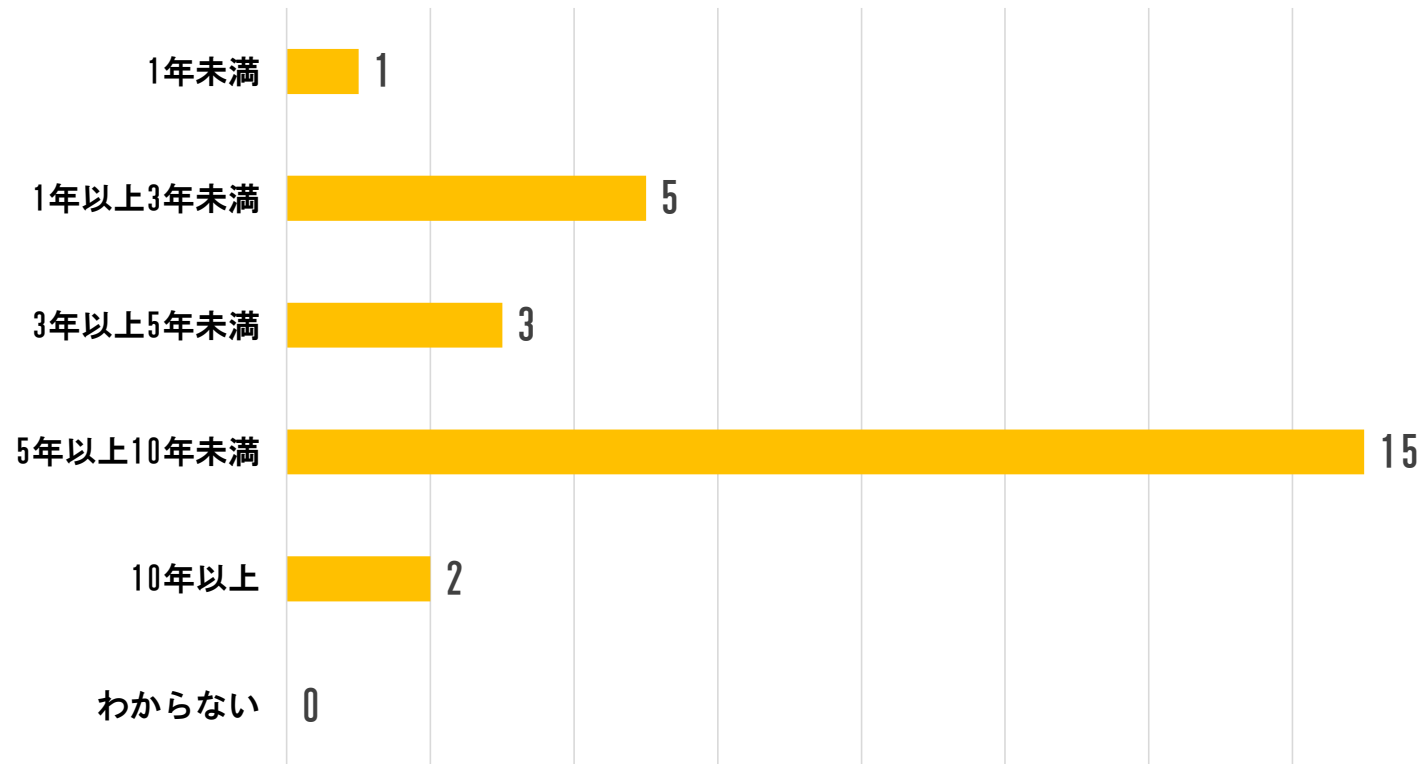
不妊治療の経験

[Q15] 現在実施中のものを含め、これまでに受けた不妊治療をすべて選んでください。
(n=26 複数回答) (Q3で「ある」「現在、受ける準備をしている」と回答した方に)



不妊治療の経験

[Q16]あなたが受けた不妊治療全体の合計年数を教えてください（治療休止期間は含みません）。（n=26 単一回答）



卵子提供の経験

[Q18] 卵子提供を受けた結果を教えてください。(n=19 複数回答)

	度数	%
TOTAL(Q3:卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験があると回答した方)	19	100.0
受精卵ができなかった	1	5.3
受精卵・胚ができたが胚移植はできなかった	1	5.3
胚移植をしたが妊娠しなかった	4	21.1
妊娠したが流産または死産をした	2	10.5
出産した	16	84.2
その他	2	10.5

卵子提供の経験

[Q19] 卵子提供に関連して胚移植までにかかった費用の合計金額を教えてください。
費用には、医療費（検査や治療、薬）、旅費や滞在費、提供者への謝礼、紹介（あっせん）団体・機関の費用等が含まれます。（n=19）

	度数	%
TOTAL (Q3:卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験があると回答した方)	19	100.0
平均値	549.5	-
中央値	400	-

卵子提供の経験

[Q20_4] 。 卵子提供による胚移植を受けた回数を教えてください（凍結保存した胚の移植だけの場合を含む）。（n=19）

	度数	%
TOTAL	19	100.0
1	11	57.9
2	3	15.8
3	2	10.5
4	1	5.3
5	1	5.3
8	1	5.3
平均値	2.1	-
中央値	1	-

卵子提供の経験

[Q21_1] 卵子提供を受けて出産したのは何回ですか。 (双子などの多胎の場合は1回と数えてください。 (n=16)

	度数	%
TOTAL(Q18で 出産した と答えた方)	16	100.0
1回	14	87.5
2回	2	12.5
3回	0	0.0
4回	0	0.0
5回	0	0.0
6回以上	0	0.0

[Q21_2] 答えた出産回ごとに生まれたお子さんの人数を教えてください。

	度数	%
TOTAL	16	100.0
1回	14	87.5
2回	2	12.5
3回	0	0.0
4回	0	0.0
5回	0	0.0
6回以上	0	0.0

卵子提供の経験

[Q21_5] 出産した医療機関を決めた経緯や理由を教えてください。 (n=16)

	度数	%
TOTAL (Q18: 卵子提供の結果として、出産したと回答した方)	16	100.0
卵子提供による生殖補助医療を受けた医療機関で出産できたから	1	6.3
卵子提供による生殖補助医療を受けた医療機関から紹介されたから	3	18.8
卵子提供ではない不妊治療や生殖補助医療を受けていた医療機関から紹介されたから	2	12.5
自分でインターネットや口コミ、病院に電話をしたりして探した	7	43.8
その他	3	18.8

卵子提供に関わる迷いや心配など

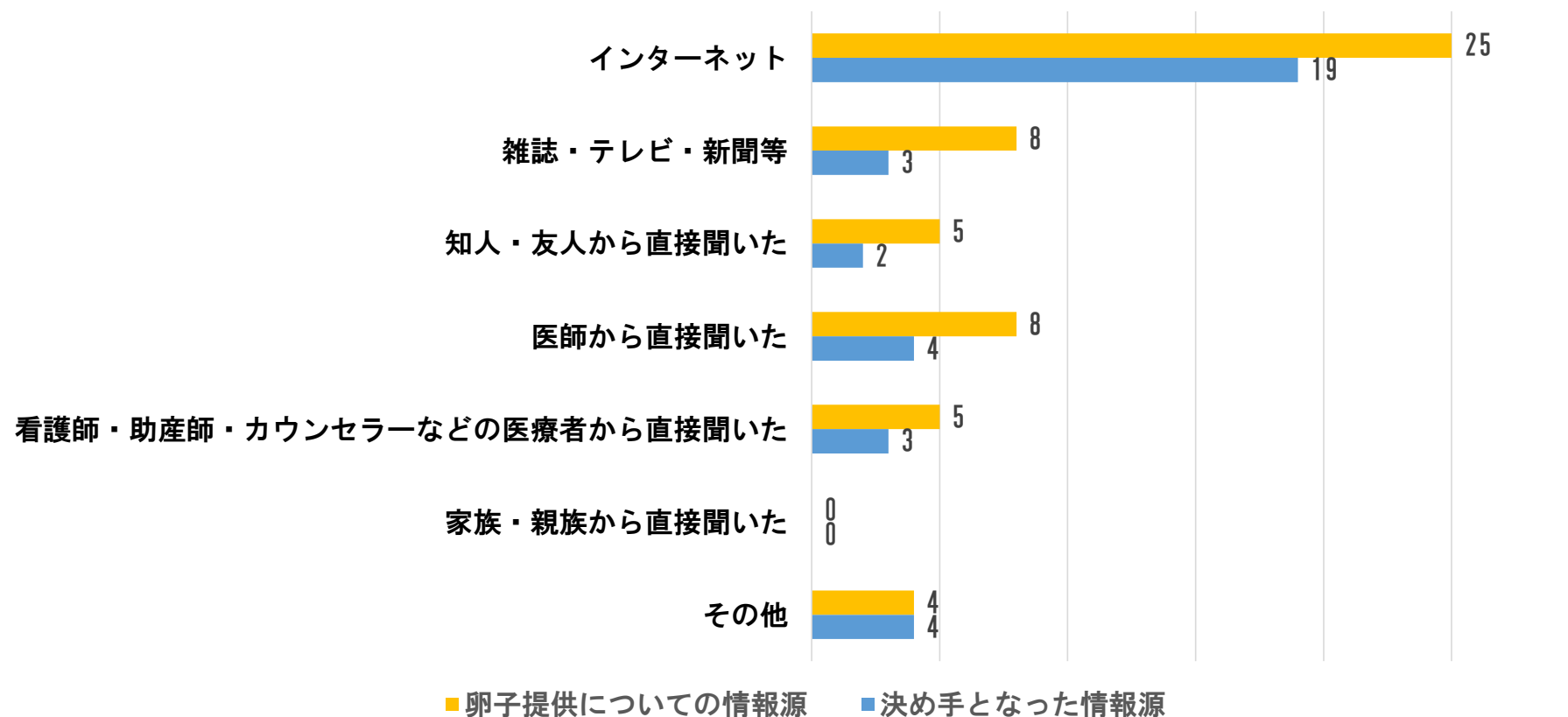
[Q17、20、21]

- 卵子提供による生殖補助医療を始める前、始めてから出産するまで、出産以降の時期について、迷ったこと、悩んだことについて尋ねた。
- 回答から、迷ったこと、悩んだことの内容は、時期によって変化した。
- 卵子提供による生殖補助医療を始める前は、その内容は幅広く、出産できるか、事実を誰に話すか、親子の関係、子どもの出自を知る権利についてなど、多岐にわたる。
- 治療開始後は、費用や、治療がうまくいくのかなど、治療に関する不安が中心になる。
- 出産後は、子どもへの事実の伝え方、周囲との関係、子育てに関わる悩みなどへと変化した。

卵子提供の情報源

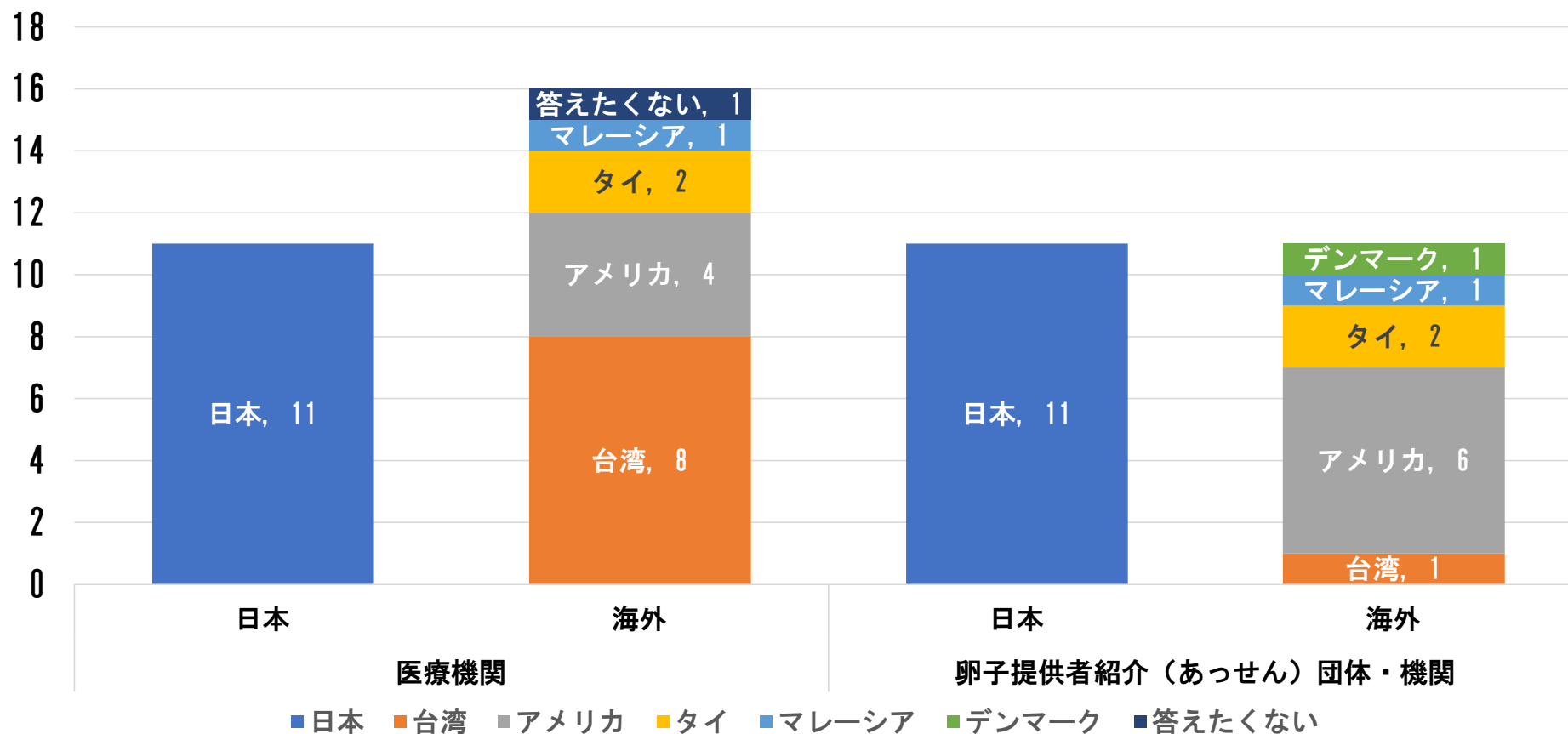
[Q23, 24] Q23 卵子提供についての情報源を教えてください。

Q24 卵子提供を受ける決め手になった情報源を教えてください。



卵子提供を受けるために利用した機関のある国

[Q28, 30, 32] 卵子提供を受けるために利用した医療機関、卵子提供者紹介（あっせん）団体・機関のある国（n=26 複数回答）



日本や海外で受けた理由

[Q33] では、日本の医療機関や日本の卵子提供者の紹介（あっせん）団体・機関を選んだと回答した11人に対して、これらを選んだ理由について、複数回答で選択肢を選択してもらった。「日本人の提供者（ドナー）が見つかるから」、「日本の医療機関なら言葉が通じるから」、「日本の法律で禁止されていないから」、「日本国内で受けると渡航費がかからないから」、「コロナ禍で渡航が難しかったから」が選択された。

[Q34] では、海外の医療機関や海外の卵子提供者の紹介（あっせん）団体・機関を選んだと回答した20人（日本との重複回答あり）に対して、これらを選んだ理由について、複数回答で選択肢を選択してもらった。「その国の法律で禁止されていないから」、「海外の医療機関だが日本語での説明がある、または通訳がいるから」、「海外の方が卵子提供の実施件数が多く経験が豊富だから」、「日本国内より早く提供が受けられるから」など、受けやすさが重視されていた。

不妊治療の経験

[Q35] 卵子提供を受けた時期を次から選んでください。(n=19 複数回答)

	度数	%
TOTAL	19	100.0
2009年以前	0	0.0
2010年から2014年	3	15.8
2015年から2020年初頭(コロナ禍以前)	14	73.7
2020年(コロナ禍以降)から現在	3	15.8

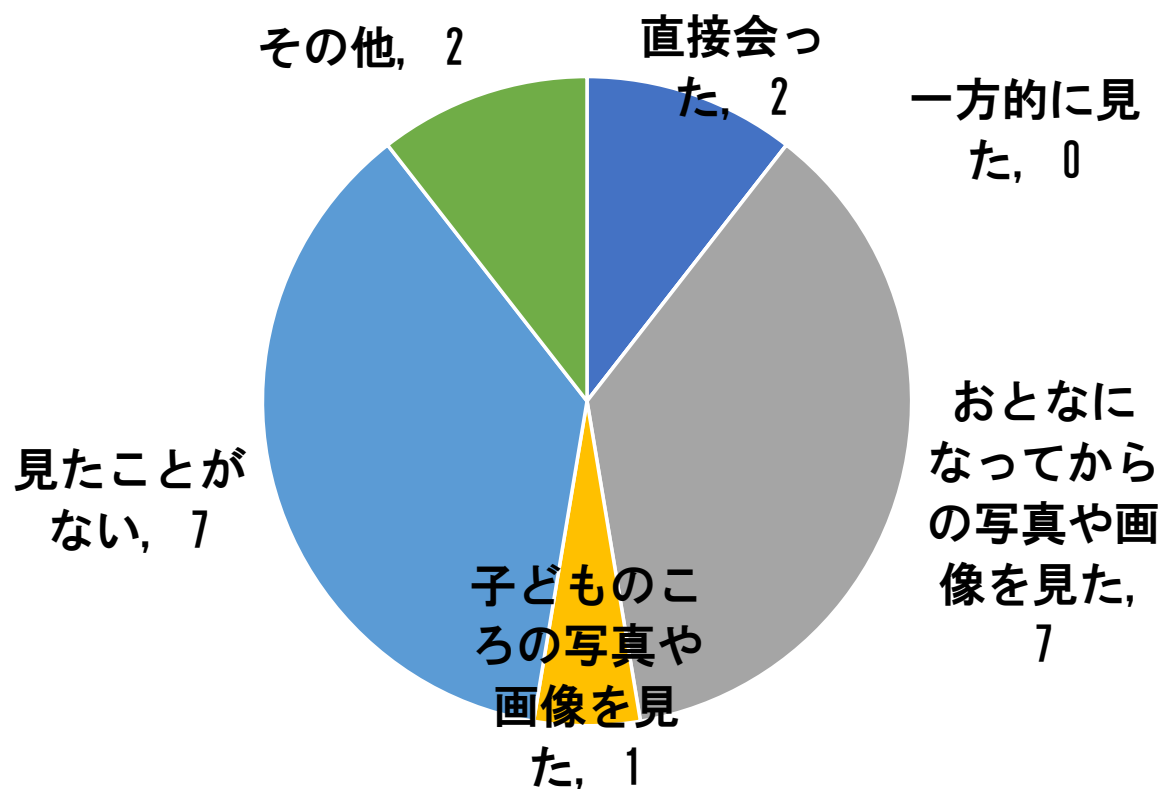
卵子提供者との関係

[Q36] 卵子提供者とあなたとの関係を教えてください。 (n=19 複数回答)

	度数	%
TOTAL (Q3:卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験があると回答した方)	19	100.0
姉妹や親戚	1	5.3
友人知人	2	10.5
卵子提供者紹介(あっせん)団体・業者で紹介された卵子提供者	9	47.4
医療機関で紹介された卵子提供者	9	47.4
インターネットで見つけた卵子提供者(個人)	0	0.0
その他	0	0.0

卵子提供者との関係

[Q38]あなたに卵子を提供してくれた人を見たことがありますか。 (n=19)



子どもを持ちたい理由

[Q41]あなたが卵子提供を受けて、子どもを持ちたかった理由を教えてください。(n=26 複数回答)

	度数	%
TOTAL(Q3:卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験がある、または、準備中と回答した方)	26	100.0
妊娠や出産を経験したかったため	12	46.2
子どもが好きなため	9	34.6
子育てしたかったため	14	53.8
親になりたかったため	15	57.7
子どもがいると生活が楽しくなると思ったため	11	42.3
結婚して子どもを持つことは自然・普通なことだと思ったため	5	19.2
愛する人の子どもがほしかったため	13	50.0
子どもは夫婦関係を安定させる(子がかすがい)と思ったため	3	11.5
子どもは未来社会のいずえになると思ったため	3	11.5
子どもは老後頼れる存在であると思ったため	1	3.8
配偶者と親など周囲の人が望んだため	3	11.5
親に孫を抱かせたいと思ったため	10	38.5
子どもを持つことで一人前の大人として認められると思ったため	3	11.5
子どもに財産や家業を相続させたかったため	3	11.5
その他	5	19.2

周囲との関係

[Q42_1]あなたは子どもを持つほうがよいという期待やプレッシャーを感じたことはありますか。(n=26 単一回答)

	度数	%
TOTAL (Q3:卵子提供による体外受精または顕微授精を受けた経験がある、または、準備中と回答した方)	26	100.0
ある	17	65.4
ない	9	34.6

回答者の属性

[Q45] あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。。 (n=26 単一回答)

	度数	%
TOTAL	26	100.0
はい、フルタイムの仕事をしています	13	50.0
はい、パートタイムの仕事をしています	2	7.7
はい、フリーランスで仕事をしています	4	15.4
いいえ、収入の伴う仕事をしていません	6	23.1
その他	1	3.8

海外在住歴

[Q47]あなたは海外在住歴がありますか。

回答者26人のうち、3割強に海外在住歴があった。地域はさまざまであった。

海外在住歴	度数	地域、国名
ある（出身国を含む）	8	北欧、東南アジア、西欧、北米
ない	18	

回答者の属性

[Q49] あなたは信仰がありますか。 (n=26 単一回答)

	度数	%
TOTAL	26	100.0
ある(仏教系)	1	3.8
ある(キリスト教系)	0	0.0
ある(神道系)	0	0.0
その他	1	3.8
ある(特定の宗教ではなく、なんとなくの信仰心)		
ない	23	88.5
答えたくない	1	3.8